

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成24年8月9日

**【四半期会計期間】** 第37期第1四半期  
(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

**【会社名】** 株式会社ショクブン

**【英訳名】** SHOKUBUN CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 川 瀬 公

**【本店の所在の場所】** 名古屋市守山区向台三丁目1807番地

**【電話番号】** 052(773)1011 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役経理部長 田 野 光 夫

**【最寄りの連絡場所】** 名古屋市守山区向台三丁目1807番地

**【電話番号】** 052(773)1011 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役経理部長 田 野 光 夫

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第36期 第1四半期 連結累計期間	第37期 第1四半期 連結累計期間	第36期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	2,599,834	2,409,407	10,523,649
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	35,813	16,149	215,653
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失 ( ) (千円)	12,682	17,545	94,718
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	40,812	30,231	147,102
純資産額 (千円)	3,112,719	3,481,304	3,553,088
総資産額 (千円)	10,410,843	10,482,822	10,511,621
1株当たり四半期(当期)純利益又 は1株当たり四半期純損失 ( ) (円)	1.15	1.48	8.42
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	29.9	33.2	33.8

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第36期第1四半期連結累計期間及び第36期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第37期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

##### <売上について>

当社は、今年で創立35周年を迎えることができました。今後とも、当社の夕食材料をより多くの皆さまにご利用いただけるよう、さまざまな企画を展開してまいります。当第1四半期では、新規のお客さまを対象とした割引サービスや、お客さまからのご紹介キャンペーンを実施しております。また、既存のお客さまへは、ご愛顧感謝ウィークを設け、対象週間のご注文に対して特典商品をご用意いたしました。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要に伴う緩やかな景気回復の動きはあるものの、円高の長期化、世界経済の減速等の懸念が国内経済に影を落とし、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。国内消費につきましては、消費者の節約志向が強く、企業間の低価格競争も激化し、多くの企業にとって厳しい経営環境が続いております。

このような経済情勢の中、当社グループは、お客さまの健康を第一義に考え、安全で安心のできる美味しい食材をお届けすることを経営の基本に販売活動に努めてまいりました。

その結果、売上高は24億9百万円（前年同四半期比92.7%）になりました。売上高の内訳は、メニュー商品が23億19百万円（前年同四半期比91.4%）、特売商品は90百万円（前年同四半期比146.9%）であります。

##### <利益について>

継続的な生産効率見直しの努力により、製造にかかるコストは16百万円改善しておりますが、昨冬から今春にかけて野菜の仕入価格が高止まり傾向にあったため、売上原価率は58.1%になり、前年同四半期に比べ1.0ポイント上昇しました。

販売費及び一般管理費については、宅配ルート見直しによる業務の効率化に伴う経費削減効果もあり、前年同四半期に比べ55百万円改善しました。

その結果、利益については、16百万円の経常損失（前年同四半期は35百万円の経常利益）になり、四半期純損失は17百万円（前年同四半期は12百万円の四半期純利益）になりました。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、8百万円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,856,669	11,856,669	東京証券取引所 (市場第二部) 名古屋証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は 1,000株であります。
計	11,856,669	11,856,669		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年6月30日		11,856,669		1,148,010		611,806

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,387,000	11,387	
単元未満株式	普通株式 469,669		一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	11,856,669		
総株主の議決権		11,387	

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,612,068	1,511,256
受取手形及び売掛金	15,485	18,224
原材料及び貯蔵品	106,461	107,650
繰延税金資産	54,240	62,959
その他	30,020	70,998
貸倒引当金	122	122
流動資産合計	1,818,154	1,770,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,490,522	1,464,997
土地	5,850,506	5,933,295
その他(純額)	233,686	209,515
有形固定資産合計	7,574,715	7,607,808
無形固定資産	44,621	43,795
投資その他の資産		
投資有価証券	356,224	335,327
繰延税金資産	20,396	28,767
その他	728,583	727,233
貸倒引当金	31,075	31,075
投資その他の資産合計	1,074,129	1,060,253
固定資産合計	8,693,466	8,711,856
資産合計	10,511,621	10,482,822
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	401,380	356,435
短期借入金	590,000	1,070,000
1年内返済予定の長期借入金	1,351,526	1,305,531
未払法人税等	92,961	9,460
賞与引当金	86,000	41,750
その他	539,386	582,459
流動負債合計	3,061,253	3,365,636
固定負債		
社債	167,000	160,000
長期借入金	3,575,052	3,333,447
退職給付引当金	13,913	18,133
資産除去債務	22,699	22,821
その他	118,614	101,478
固定負債合計	3,897,279	3,635,881
負債合計	6,958,532	7,001,517

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,148,010	1,148,010
資本剰余金	1,488,147	1,488,147
利益剰余金	883,582	824,554
自己株式	502	570
株主資本合計	3,519,238	3,460,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,849	21,163
その他の包括利益累計額合計	33,849	21,163
純資産合計	3,553,088	3,481,304
負債純資産合計	10,511,621	10,482,822



(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	2,599,834	2,409,407
売上原価	1,484,544	1,400,695
売上総利益	1,115,289	1,008,711
販売費及び一般管理費	1,060,468	1,005,028
営業利益	54,821	3,682
営業外収益		
受取利息	2,460	2,555
受取配当金	3,128	3,511
受取手数料	2,940	838
受取賃貸料	1,526	1,514
その他	499	394
営業外収益合計	10,555	8,814
営業外費用		
支払利息	28,917	27,671
その他	646	974
営業外費用合計	29,563	28,646
経常利益又は経常損失( )	35,813	16,149
特別損失		
固定資産除却損	52	-
特別損失合計	52	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	35,760	16,149
法人税、住民税及び事業税	10,963	11,575
法人税等調整額	12,114	10,179
法人税等合計	23,078	1,396
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	12,682	17,545
四半期純利益又は四半期純損失( )	12,682	17,545

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	12,682	17,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,130	12,686
その他の包括利益合計	28,130	12,686
四半期包括利益	40,812	30,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,812	30,231

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
減価償却費	53,019千円	50,769千円
のれんの償却額	364千円	364千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	38,588	3.5	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	41,495	3.5	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失( )	1円15銭	1円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	12,682	17,545
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益又は 普通株式に係る四半期純損失( )(千円)	12,682	17,545
普通株式の期中平均株式数(株)	11,024,995	11,855,718

(注) 1. 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8 月 3 日

株式会社ショクブン  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 渋谷 英 司 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 後藤 隆 行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ショクブンの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ショクブン及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。